全教職員の協力を生かしたていねいな教育

長房小だより 2月 No.847

令和6年度(2024年度)
令和7年2月3日発行
八王子市立長房小学校
校　長　　川村　和人

ホームページに子どもたちの様子を公開しています

令和６（２０２４）年度の学校評価第２回目より

校長　川村　和人

今回の自由意見でも、学校へのご意見や励ましのお言葉をいただきました。皆様の言葉を胸に、教職員一同力を合わせて教育活動を進めてまいります。ご意見については真摯に受け止め改善してまいります。ご要望については、これからの教育計画の中で検討してまいります。ありがとうございました。また、ご意見いただいた方や、内容に関わる人権への配慮から主なものをまとめさせていただきました。ご理解くださいますようお願い申し上げます。また、別紙にて詳細の評価データ及び学校からの回答をお知らせいたしますので、ご確認の程、どうぞお願いいたします。

【アンケート自由意見より】
〇お忙しい中、生徒一人一人に向き合い指導サポートしてくださりいつも感謝でいっぱいです。なかなか学校に行かない状況ですが、担任や学校側の対応がとても丁寧で、理解があるので、助かっています。引き続きどうぞ宜しくお願いします。 〇先生方、いつもありがとうございます。子どもが楽しく、過ごしています。(同1) 〇学校公開の時に子どもたちが楽しそうに授業を受けていました。宿題なども細かく見てくれているなぁと感じます。 〇担任の先生だけでなく、校長先生や副校長先生もよく見て下さっているなぁと感じます。学校が楽しいと通ってくれるようになり嬉しいです。ありがとうございます。

●Q.9やQ.10は学校というより先生によって違う。
●11月15日金曜日の4年生の社会科見学の時下校時間が遅くなる場合、H&Sアプリで連絡するとの事でしたが、迎えに行ったら17時到着予定と聞き、アプリではなんの連絡もなく40分くらい学校で待ちました。アプリで連絡していただきたいです。 ●1人1役の強制を無くして欲しい。その分会費を多く払っても良いので選択できるようにして欲しい。三校交流も必要なのか。他校と交流する意味とその必要性があるとは思えない。児童や保護者、先生方の負担が増えるだけではないか。地域の行事もその地域の住人らで運営するべきものであって、そこに学校の教師や無関係の保護者がボランティアで参加してまでやる必要があるのか。仕事の予定を調整したり休む必要があったり、子供の預け先を確保したりと負担が大きい。任意であるはずのものが全員強制になっていることに疑問を感じる。●CS.父母会の活動負担が大きすぎる。●CS、父母会の活動内容を簡素に見直してほしい。

【自由意見記述を受けての回答について】
〇各学級において指導の格差が無いよう授業改善と教員一人ひとりの指導力向上に努めます。また、校外学習時の帰校時刻について、随時ホーム＆スクールにて配信します。
〇学校運営協議会や父母と先生の会(PTA)等の活動について
前回の学校評価の回答でもお知らせしましたが、父母と先生の会の「一人一役」としてのご支援は、今後も、保護者の方々の参加は、とても心強いことですので、「一人一役」の役割分担について、どうしても都合がつかないという際は、学校運営協議会委員と父母と先生の会役員の合同で、相談をさせていただきます。また、今後もまさに「ボランティアとして参加してもよい」という方々がいらっしゃるとありがたいですし、地域のお祭りをご家族で楽しんでくださいますと幸いです。

【保護者・地域・近隣保・幼・小・中・高・特別支援学校・教育関連諸機関等との連携について】
日本の学校教育では、憲法はじめ様々な法律、条例等に基づいて文部科学省が作成制定した学習指導要領をよりどころにして、教育活動を実施しなくてはなりません。その学習指導要領は、「総則」を基本として各教科ごとに指導すべきことが作成されています。その「総則」の中に次のような項目として必須の指導及び取組内容が示されています。その内容が、様々な連携と交流が必要となる根拠となります。以下に概要となる一部を記述します。詳細は、少し長くなりますが、別紙を是非お読みください。

第５節　学校運営上の留意事項　【家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携】
〇家庭や地域社会との連携及び協働と世代を越えた交流の機会
ア　学校がその目的を達成するため，学校や地域の実態等に応じ，教育活動の実施に必要な人的又は物的な体制を家庭や地域の人々の協力を得ながら整えるなど，家庭や地域社会との連携及び協働を深めること。また，高齢者や異年齢の子供など，地域における世代を越えた交流の機会を設けること。
〇学校相互間の連携や交流
イ　他の小学校や，幼稚園，認定こども園，保育所，中学校，高等学校，特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに，障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け，共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすること。

文部科学省作成制定　現行　小学校学習指導要領（平成 29 年告示）　総則編

第5節　学校運営上の留意事項

2　家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携

①　家庭や地域社会との連携及び協働と世代を越えた交流の機会（第1章第5の2のア）

ア　学校がその目的を達成するため，学校や地域の実態等に応じ，教育活動の実施に必要な人的又は物的な体制を家庭や地域の人々の協力を得ながら整えるなど，家庭や地域社会との連携及び協働を深めること。また，高齢者や異年齢の子供など，地域における世代を越えた交流の機会を設けること。

教育基本法には，第 13 条において「学校，家庭及び地域住民その他の関係者は，教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに，相互の連携及び協力に努めるものとする。」と規定されている。また，学校教育法には，「小学校は，当該小学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに，これらの者との連携及び協力の推進に資するため，当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとする。」と規定されている（同法第 43 条）。

このように，学校がその目的を達成するためには，家庭や地域の人々とともに児童を育てていくという視点に立ち，家庭，地域社会との連携を深め，学校内外を通じた児童の生活の充実と活性化を図ることが大切である。また，学校，家庭，地域社会がそれぞれ本来の教育機能を発揮し，全体としてバランスのとれた教育が行われることが重要である。

そのためには，教育活動の計画や実施の場面では，家庭や地域の人々の積極的な協力を得て児童にとって大切な学習の場である地域の教育資源や学習環境を一層活用していくことが必要である。また，各学校の教育方針や特色ある教育活動，児童の状況などについて家庭や地域の人々に適切に情報発信し理解や協力を得たり，家庭や地域の人々の学校運営などに対する意見を的確に把握して自校の学校運営上の留意事項教育活動に生かしたりすることが大切である。その際，家庭や地域社会が担うべきものや担った方がよいものは家庭や地域社会が担うように促していくなど，相互の意思疎通を十分に図ることが必要である。

さらに，家庭や地域社会における児童の生活の在り方が学校教育にも大きな影響を与えていることを考慮し，休業日も含め学校施設の開放，地域の人々や児童向けの学習機会の提供，地域社会の一員としての教師のボランティア活動を通して，家庭や地域社会に積極的に働きかけ，それぞれがもつ本来の教育機能が総合的に発揮されるようにすることも大切である。

また，都市化や核家族化の進行により，日常の生活において，児童が高齢者と交流する機会は減少している。そのため，学校は児童が高齢者と自然に触れ合い交流する機会を設け，高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちや思いやりの心を育み，高齢者から様々な生きた知識や人間の生き方を学んでいくことが大切である。

高齢者との交流としては，例えば，授業や学校行事などに地域の高齢者を招待したり，高齢者福祉施設などを訪問したりして，高齢者の豊かな体験に基づく話を聞き，介護の簡単な手伝いをするなどといった体験活動が考えられる。また，異年齢の子供など地域の様々な人々との世代を越えた交流を図っていくことも考えられる。こうした取組を進めるに当たっては，総合的な学習の時間や特別活動などを有意義に活用するとともに，学校は介護や福祉の専門家の協力を求めたり，地域社第3章教育課程の編成及び実施会や学校外の関係施設や団体で働く人々と連携したりして，積極的に交流を進めていくことが大切である。

②　学校相互間の連携や交流（第1章第5の2のイ）

イ　他の小学校や，幼稚園，認定こども園，保育所，中学校，高等学校，特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに，障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け，共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすること。

学校同士が相互に連携を図り，積極的に交流を深めることによって，学校生活をより豊かにするとともに，児童の人間関係や経験を広げるなど広い視野に立った適切な教育活動を進めていくことが必要である。その際には，近隣の学校のみならず異なった地域の学校同士において，あるいは同一校種だけでなく異校種間においても，このような幅広い連携や交流が考えられる。

学校間の連携としては，例えば，同一市区町村等の学校同士が学習指導や生徒指導のための連絡会を設けたり，合同の研究会や研修会を開催したりすることなどが考えられる。その際，幼稚園や認定こども園，保育所，中学校との間で相互に幼児児童生徒の実態や指導の在り方などについて理解を深めることは，それぞれの学校段階の役割の基本を再確認することとなるとともに，広い視野に立って教育活動の改善・充実を図っていく上で極めて有意義であり，幼児児童生徒に対する一貫性のある教育を相互に連携し協力し合って推進するという新たな発想や取組が期待される。

学校同士の交流としては，例えば，近隣の小学校や幼稚園，認定こども園，保育所，校区の中学校と学校行事，クラブ活動や部活動，自然体験活動，ボランティア活動などを合同で行ったり，自然や社会環境が異なる学校同士が相互に訪問したり，コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して交流したり，特別支援学校などとの交流を図ったりすることなどが考えられる。

これらの活動を通じ，学校全体が活性化するとともに，児童が幅広い体験を得，視野を広げることにより，豊かな人間形成を図っていくことが期待される。障害者基本法第 16 条第3項にも規定するとおり，障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習は，児童が障害のある幼児児童生徒とその教育に対する正しい理解と認識を深めるための絶好の機会であり，同じ社会に生きる人間として，お互いを正しく理解し，共に助け合い，支え合って生きていくことの大切さを学ぶ場でもあると考えられる。

特別支援学校との交流の内容としては，例えば，学校行事や学習を中心に活動を共にする直接的な交流及び共同学習のほか，文通や作品の交換といった間接的な交流及び共同学習が考えられる。なお，交流及び共同学習の実施に当たっては，双方の学校同士が十分に連絡を取り合い，指導計画に基づく内容や方法を事前に検討し，各学校や障害のある幼児児童生徒一人一人の実態に応じた様々な配慮を行うなどして，組織的に計画的，継続的な交流及び共同学習を実施することが大切である。

また，特別支援学級の児童との交流及び共同学習は，日常の様々な場面で活動を共にすることが可能であり，双方の児童の教育的ニーズを十分把握し，校内の協力体制を構築し，効果的な活動を設定することなどが大切である。

	保護者アンケート	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	学校の教育方針「言われてうれしい言葉をつかい、みんな仲良く助け合い、学ぶ喜びを体得し、地域と共に歩む学校」を知っている。	37.0%	42.5%	3.9%	7.9%	8.7%
2	学校は、力を入れている取り組み「学力の向上、豊かな心の育成、健康・安全・安心」を行っている。	48.0%	37.8%	3.1%	2.4%	8.7%
3	本校が長房中・船田小との三校で取り組んでいる「小中連携」について知っている。	59.1%	29.1%	3.9%	1.6%	6.3%
4	学校は子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	62.2%	32.3%	0.8%	0.0%	4.7%
5	学校は、「特別な教科　道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	48.8%	40.9%	0.0%	1.6%	8.7%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	35.4%	40.9%	1.6%	0.0%	22.0%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	51.2%	37.0%	1.6%	0.0%	10.2%
8	学校は、授業において、説明、板書、話合い活動、ＩＣＴ機器（１人１台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	47.2%	39.4%	2.4%	0.8%	10.2%
9	学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	51.2%	37.0%	1.6%	0.0%	10.2%
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	54.3%	36.2%	1.6%	0.8%	7.1%
11	学校が、「はちおうじっ子　キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	48.0%	26.8%	1.6%	5.5%	18.1%
12	学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	54.3%	33.1%	0.0%	2.4%	10.2%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	57.5%	33.9%	3.1%	1.6%	3.9%
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	66.1%	22.0%	1.6%	0.8%	9.4%
15	子どもの学級は、落ち着いて学習できる雰囲気である。	40.2%	36.2%	10.2%	2.4%	11.0%
16	子どもには、なかよしの友達がいる。	63.8%	28.3%	0.8%	0.8%	6.3%
17	子どもは、挨拶ができる。	51.2%	32.3%	12.6%	1.6%	2.4%
18	子どもは、家で勉強している。（家庭学習等）	30.7%	37.8%	20.5%	10.2%	0.8%
19	子どもは、学習用端末を活用できている。	26.8%	38.6%	15.7%	7.1%	11.8%
20	子どもは、よく読書している。	15.0%	22.0%	26.0%	35.4%	1.6%
21	子どもは、充実した学校生活を送っている。	43.3%	43.3%	3.9%	5.5%	3.9%
22	地域運営学校（ＣＳ）の活動は充実している。	40.9%	33.9%	0.8%	0.8%	23.6%

〇ほぼ全ての項目が「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的にとらえられています。前回のアンケートと比較すると、特に項目9「学習活動に対する評価」について、9割近くの方が肯定的で、前回より肯定的評価に8%の向上も見られました。個人面談での担任からの丁寧な説明が皆様に評価され、ご理解いただいていることが分かりました。これからも継続していきます。また、項目1「学校の教育方針」についても、前回より7%と上がっています。学校だよりや学校公開でお話していることが皆様に伝わっているのが分かりました。

〇例年課題となっている項目20「読書活動」については、図書委員会による「秋の読書週間」（図書宝くじ）や年間の「各組の貸し出し冊数表」の掲示、保護者ボランティアによる「読み聞かせ」、「八王子お話の会」の皆様の協力を得た取組等を積極的に行いましたが、今回も低い評価となっています。児童アンケートの結果、学校での読書は61%、家庭での読書は48%の児童が取り組めていると回答しているので、家庭での読書を強化する取り組みをしてまいります。各ご家庭でも、読書の取組へのご協力をお願いいたします。

また、肯定的な回答が低いものとしては項目19「子どもは、学習端末を活用できている」が挙げられています。前回よりも12%の肯定評価減となりました。メディアリテラシー教育を推進し、学習用端末の使用ルールの徹底を児童に指導していきます。さらに、学習用端末を個別学習や協働学習に活用していきます。

	学校運営協議会アンケート	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	学校の教育方針「言われてうれしい言葉をつかい、みんな仲良く助け合い、学ぶ喜びを体得し、地域と共に歩む学校」を知っている。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
2	学校は、力を入れている取り組み「学力の向上、豊かな心の育成、健康・安全・安心」を行っている。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
3	本校が、長房中・船田小との三校で取り組んでいる「小中連携」について知っている。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
5	学校は、「特別の教科　道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
7	学校は落ち着いて学習できる雰囲気である。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
8	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように取り組んでいる。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
9	学校が、「はちおうじっ子　キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や働き方等についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
10	学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
11	学校は、地域に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	学校は地域運営学校として、地域とともにある学校づくりを推進している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13	学校は地域の誇りになっている。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
14	学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
15	わかりやすい授業が行われている。	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
16	地域運営学校（ＣＳ）の活動は充実している。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%

＜自由意見＞

○定期的に開かれる学校運営協議会や開校中に学校に伺う時などや、生徒と一緒に取り組む授業などのふれあいがあり、嬉しい限りです。近頃では、先生方とのふれあいも増え、ありがたく思います。
○学校運営協議会が中心になって、長房端午祭りやイチョウ祭りの時に、毎年出店している。学運協の委員はもろんのこと、父母と教師の会の保護者の方々もお店の運営に関わって下さっている。積極的に働いて下さっている姿に頭の下がる思いです。無理のない範囲で今後とも出店は続けて欲しいです。この売り上げ金は、長房小の子供たちに還元していくのですから。
○学運協の委員と先生方との懇談会を年に一回でもよい。何かテーマを決めて話し合う。テーマの内容は深まらなくてもよい。先生方と委員との顔見知りになることが目的。学校と委員との更なるコミュニケーションを取りやすくする糸口となる。

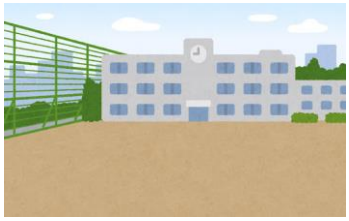
○今回も前回に引き続き、地域運営学校としての活動や子どもたちへの学習について、肯定的にとらえられています。項目7については、肯定的評価が20%上がりました。これからも、地域の誇りとなる学校であることができるよう、教職員一同力を尽くしてまいります。また月1回の学校運営協議会で詳しくお知らせしていくとともに、直接の参観、学校ホームページでの活動紹介、C4th Home&Schoolでの情報配信等の工夫で、充実を図ってまいります。

	４～６年生授業アンケート	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	先生の教え方はわかりやすい。	63.9%	27.0%	3.3%	1.2%	4.6%
2	先生は、自分が学習でがんばったことをわかってくれている。	61.8%	22.0%	2.1%	1.2%	12.9%
3	先生の授業は楽しい。	64.7%	21.2%	2.9%	4.6%	6.6%
4	先生の授業は集中できる。	47.7%	33.6%	7.9%	2.5%	8.3%
5	先生の授業では、自分の意見が言える。	54.4%	19.9%	8.7%	5.8%	11.2%
6	先生は、自分たちに対して公平に接している。	64.7%	13.7%	4.1%	2.9%	14.5%
7	先生は、授業で目標（めあて・ねらい）を示している。	67.2%	16.2%	1.7%	0.4%	14.5%
8	先生は、意見をお互いに出し合うことを、授業の中に取り入れている。	53.5%	18.7%	6.2%	2.9%	18.7%
9	先生は、調べたり考えたり話し合ったりする場面を、授業の中に取り入れている。	58.9%	21.2%	4.6%	2.9%	12.4%
10	先生は、パソコンや実物投影機などのICT機器を活用した授業を行っている。	40.3%	24.8%	14.7%	10.5%	9.7%
11	先生は、授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行っている。	43.2%	23.2%	7.9%	10.0%	15.8%
12	先生は、質問にていねいに答えてくれる。	67.6%	17.8%	4.1%	1.2%	9.1%
13	先生は、宿題や作品などをていねいに見てくれる。	52.7%	14.1%	3.7%	0.4%	29.0%
14	先生の黒板の字は、ていねいでわかりやすい。	62.2%	20.3%	4.6%	1.2%	11.6%
15	先生の授業の進め方は、ちょうどよい。	67.2%	19.5%	3.7%	1.7%	7.9%
16	先生の声の大きさや話す速さは、ちょうどよい。	77.6%	10.8%	2.5%	0.8%	8.3%
17	先生は、授業を時間通りにチャイムで始め、時間通りにチャイムで終わっている。	51.0%	27.4%	9.1%	2.5%	10.0%
18	先生は、授業中ふざけたりしている人に、きちんと指導をしている。	80.5%	13.7%	1.7%	0.4%	3.7%
19	先生は、忘れ物や宿題忘れがないように指導している。	59.3%	16.6%	2.9%	1.2%	19.9%

○4～6年生を対象に行った授業アンケートでは、教員の指導に対して、6割以上の項目で「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的にとらえられています。前回、最も否定的であった項目10「先生は、パソコンや実物投影機などのICT機器を活用した授業を行っている」では肯定的評価が前回より12.8%下がりましたが、その分、項目14「先生の黒板の字はていねいで分かりやすい」では0.1%の向上が見られ、黒板を活用しての授業に力を入れている面が見られました。

○肯定的数値が昨年最も下がった項目19「先生は、忘れ物や、宿題忘れがないように指導している」は、各学級で、持ち物や宿題を予定表に書いたり、学級通信等でお知らせしたりと工夫をした結果、2.4%の改善が見られ、児童にしっかりと意識させることができました。また、重要な連絡については、C4th Home&Schoolの「クラスからの連絡・宿題」の機能等を活用し、保護者の皆さんにもお伝えしたことも忘れ物が減ったことに繋がっていると思います。ご協力ありがとうございました。

	５・６年生児童アンケート	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	先生たちは、学校目標の「言われてうれしい言葉をつかい、みんな仲良く助け合い、学ぶ喜びを体得し、地域と共に歩む学校」を伝えていますか。	51.1%	20.0%	6.7%	2.2%	20.0%
2	先生たちは、長房小が力を入れている「学力の向上」「豊かな心の育成」に熱心に取り組んでいますか。	48.9%	17.8%	0.0%	0.0%	33.3%
3	先生たちは、長房中学校・船田小学校と合同で行う取組（授業参観、クリーン活動）に熱心に取り組んでいますか。	42.2%	8.9%	0.0%	4.4%	44.4%
4	先生たちは、児童が安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいますか。	75.6%	13.3%	0.0%	0.0%	11.1%
5	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるように、先生たちは指導していますか。	71.1%	11.1%	2.2%	0.0%	15.6%
6	先生たちは、いじめを起こさせない取組を行ったり、発生した場合には、ただちに対応をしたりするなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいますか。	60.0%	11.1%	2.2%	0.0%	26.7%
7	先生たちは、落ち着いて学習できる学級づくりに取り組んでいますか。	48.9%	20.0%	8.9%	0.0%	22.2%
8	先生たちは、授業において、説明、板書、話合い活動、ＩＣＴ機器（１人１台の学習用端末を含む）の活用などの工夫に取り組んでいますか。	57.8%	20.0%	2.2%	0.0%	20.0%
9	先生たちは、児童がよりよい生活を送れるように、学校の生活指導の目標やきまりを守るよう指導していますか。	64.4%	8.9%	0.0%	0.0%	26.7%
10	先生たちは、「はちおうじっ子　キャリア・パスポート」等を用いて、児童の生き方や将来についての指導をしていますか。	55.6%	11.1%	6.7%	2.2%	24.4%
11	先生たちは、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいますか。	66.7%	6.7%	0.0%	2.2%	24.4%
12	自分は、長房小学校の「言われてうれしい言葉をつかい、みんな仲良く助け合い、学ぶ喜びを体得し、地域と共に歩む学校」を知っている。	53.3%	31.1%	0.0%	4.4%	11.1%
13	自分は、長房小が力を入れている「学力の向上」「豊かな心の育成」に熱心に取り組んでいる。	40.0%	17.8%	17.8%	2.2%	22.2%
14	自分は、長房中学校と長房小学校がいっしょに行う（授業参観、クリーン活動）に熱心に取り組んでいる。	31.1%	20.0%	13.3%	8.9%	26.7%
15	自分は、学校で安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	75.6%	6.7%	2.2%	2.2%	13.3%
16	自分は、自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができる。	40.0%	35.6%	8.9%	0.0%	15.6%
17	自分は、友だちをいじめることなく、自分も友だちも大切にしている。	55.6%	24.4%	2.2%	2.2%	15.6%
18	自分は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	37.8%	40.0%	8.9%	4.4%	8.9%
19	自分は、主体的に課題を見付け、発言したり、友だちと意見を交換したりできる。	31.1%	42.2%	8.9%	4.4%	13.3%
20	自分は、学校の生活指導の目標やきまりを守っている。	37.8%	26.7%	8.9%	0.0%	26.7%
21	自分は、将来の進路や職業について目標をもって学校生活に取り組んでいる。	48.9%	17.8%	11.1%	8.9%	13.3%
22	自分は、整理・整頓や清掃活動に熱心に取り組んでいる。	37.8%	31.1%	11.1%	6.7%	13.3%
23	学校に楽しく通っている。	40.0%	31.1%	11.1%	8.9%	8.9%
24	よくあいさつをしている。	40.0%	35.6%	11.1%	6.7%	6.7%
25	読書の時間、よく読書をしている。	44.4%	17.8%	17.8%	6.7%	13.3%
26	日ごろから、よく読書をするほうだ。	22.2%	26.7%	13.3%	31.1%	6.7%
27	算数の勉強はわかっている。	37.8%	48.9%	4.4%	4.4%	4.4%
28	国語の勉強はわかっている。	42.2%	35.6%	11.1%	6.7%	4.4%
29	英語の勉強は楽しい。	51.1%	22.2%	13.3%	2.2%	11.1%
30	先生や友だちの話をよく聞いている。	62.2%	24.4%	0.0%	0.0%	13.3%
31	勉強でわからないことは質問している。	44.4%	22.2%	17.8%	2.2%	13.3%
32	家での勉強（学年×１０分）をしている。	15.6%	17.8%	20.0%	35.6%	11.1%
33	教科書などの勉強道具を忘れずに持ってきている。	42.2%	35.6%	13.3%	0.0%	8.9%
34	学習で、パソコンを活用することができる。	73.3%	15.6%	4.4%	0.0%	6.7%
35	学校では、時刻を守って生活している。	60.0%	20.0%	8.9%	0.0%	11.1%
36	地いきの活動（クリーン活動、地域のお祭りなど）に参加している。	31.1%	22.2%	11.1%	20.0%	15.6%
37	コミュニティースクール（学校運営協議会　ＣＳ）の活動（ファームや夏祭りなどのボランティア）を知っている。	35.6%	22.2%	6.7%	8.9%	26.7%



○5･6年生の児童アンケートでは、9割の項目において「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的にとらえられています。前回のアンケートと比較してみると13の項目で向上が見られ、教員の働きかけや指導により、児童が意識的に活動に取り組んできたことがうかがえる結果となりました。学校での学習や生活が充実していることもうかがえます。

○前回低い結果であった項目22「自分は、整理･整頓や清掃活動に熱心に取り組んでいる」において、肯定的な回答の11.1%の向上が見られました。今年度より掃除回数を週4回に増やし、掃除時間を給食後に変更しています。また、「長房小　掃除スタンダード」を決め、学校全体として掃除の仕方を統一し、取り組んできました。その結果、児童の清掃活動に対する意識の向上に繋がったと考えられます。

○項目27「算数の勉強はわかっている」においては、肯定的な回答が86.7%となり、前回と比較しても約10%上がる結果となりました。高学年となり、学習の積み上げが実感できるようになってきています。今後も、児童の実態に合わせた授業展開を工夫していきます。

○項目32「家での勉強（学年×10分）をしている」は、肯定の回答が少なく、昨年度に引き続き課題となっていることがうかがえます。宿題や自主学習を一人で行うことが難しいと感じている児童が多くいることがわかりました。学校では、学習状況を把握し、授業改善を行いながら一人ひとりに合わせた支援をしてまいります。御家庭でも御協力よろしくお願いいたします。

○項目20「自分は、学校の生活指導の目標やきまりを守っている」においては、「わからない」が26.7%と、他の項目と比べて高い結果となりました。児童自身、きまりを守れているか自信がないことが予想されます。児童一人ひとりが長房小学校のきまりを意識して生活できるよう、継続して指導していきます。